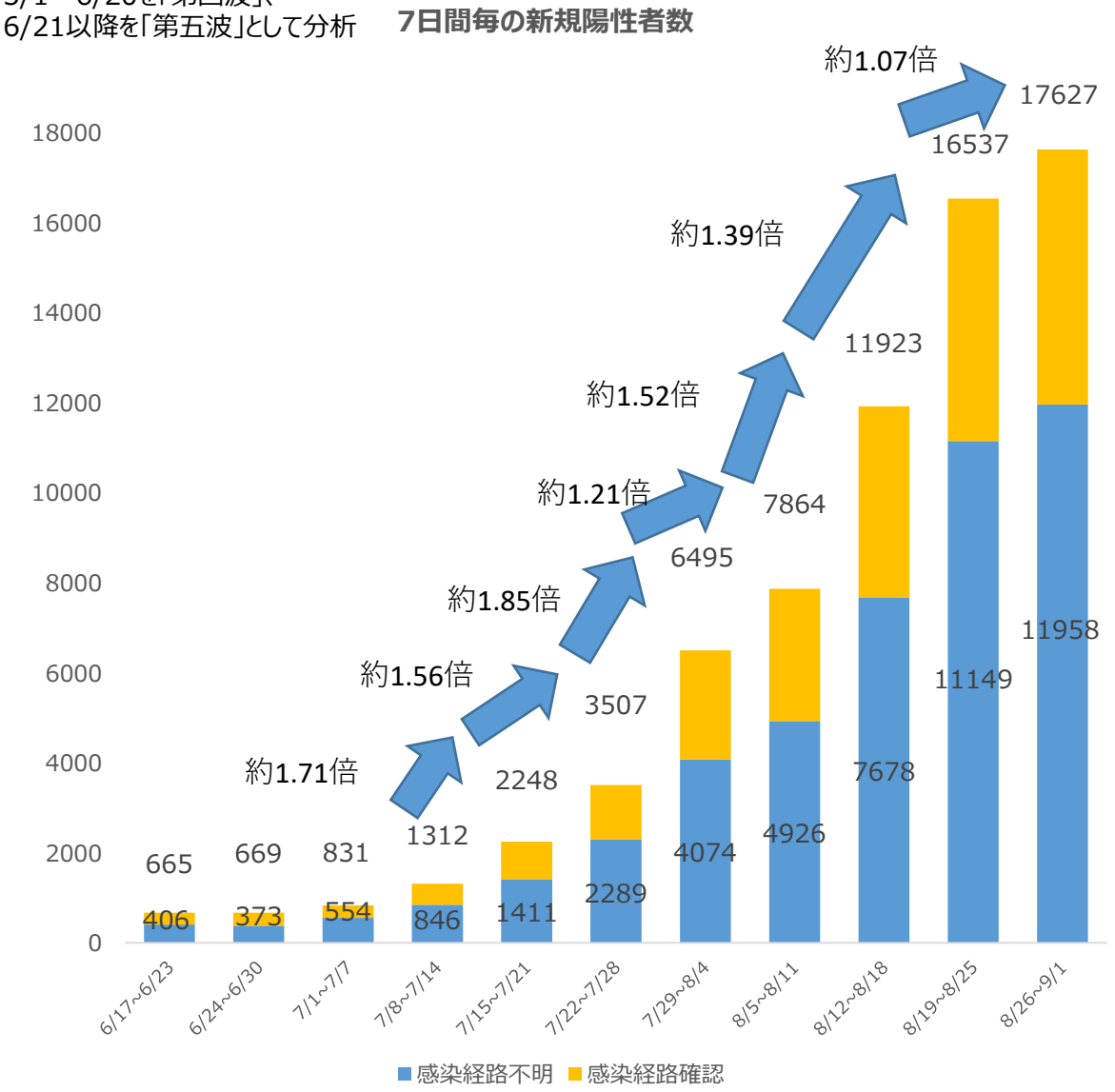
7日間毎の新規陽性者数と年代別新規陽性者数の推移（9月1日時点）

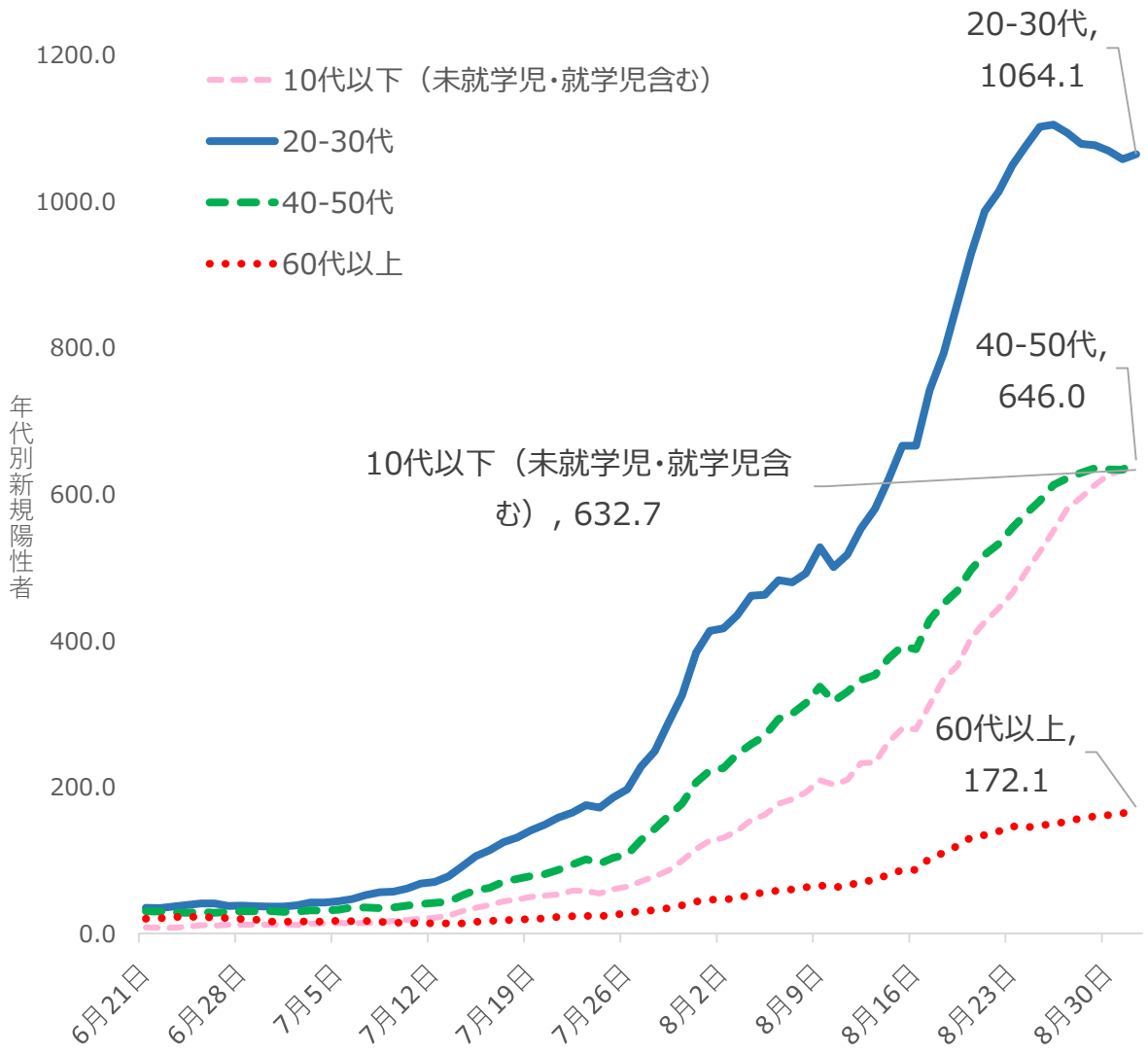
フリップ①

◆ 直近1週間の感染拡大速度はやや鈍化しているものの、依然、感染が拡大（直近1週間は平均約2,518名／日）。

◆ 20・30代、40・50代の増加はやや鈍化傾向にある一方、10代以下の新規陽性者数が8月中旬以降、急増。

3/1～6/20を「第四波」、
6/21以降を「第五波」として分析





L452R変異株の置き換わりの状況と年代別新規陽性者の割合

フリップ②

◆ L452R変異は8月に急速に置き換わり。感染力が極めて高いデルタ株の影響で、8月は、これまで感染が比較的少なかった10代以下の陽性者数が増加。

■大阪府のSARS-CoV-２陽性検体に占めるL452R変異の割合

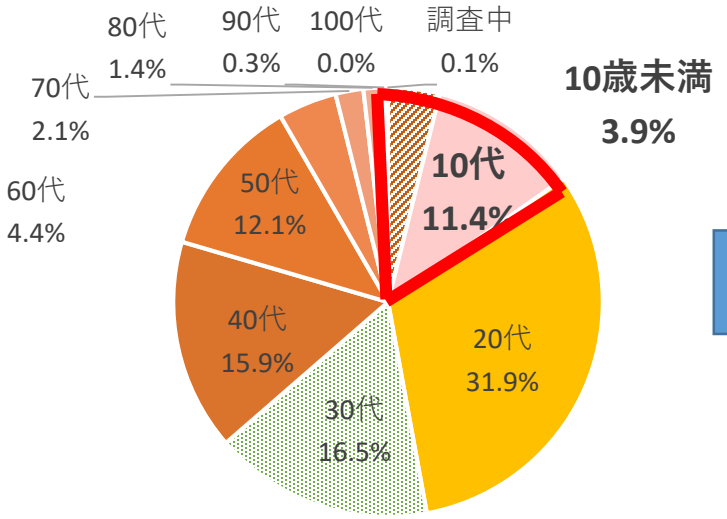
7/26時点	8/10時点	8/30時点
0.26	0.79	0.98

L452R変異検出数／変異株スクリーニング件数

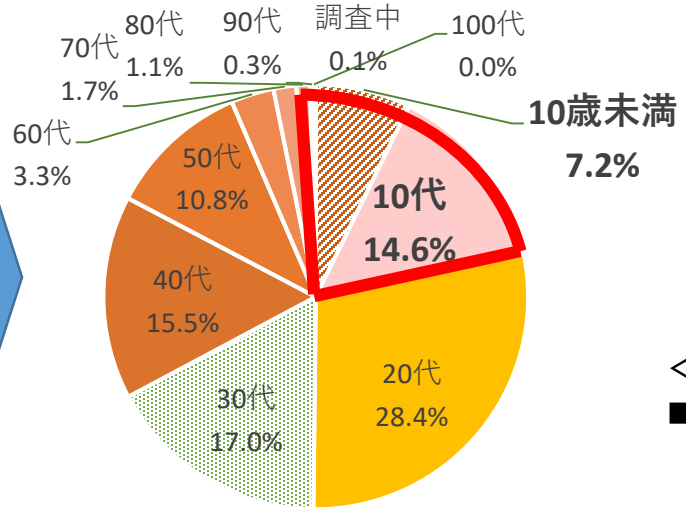
（第50回アドバイザリーボード（9/1開催）より抜粋）

■年代別新規陽性者の割合

第五波①
（6月21日～7月31日）



第五波②
（8月1日～8月31日）

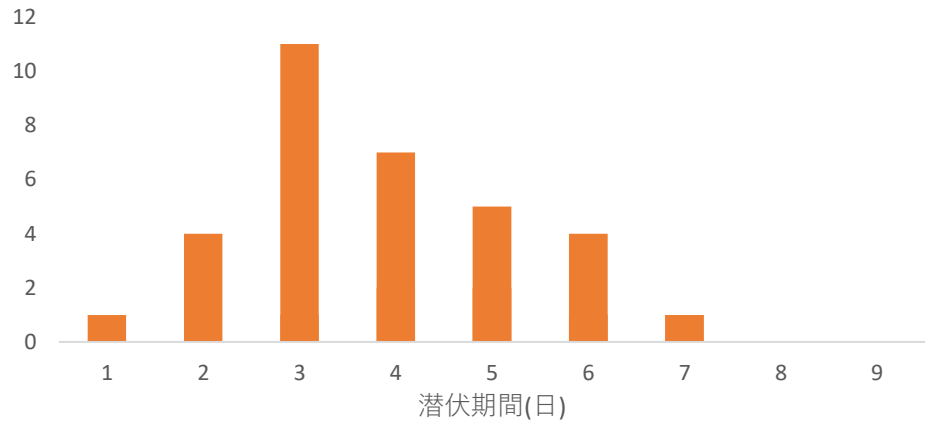


	第五波①（6/21～7/31）	第五波②（8/1～8/31）
10歳未満の割合	3.9%	7.2%
10代の割合	11.4%	14.6%

■潜伏期間の分布

（府内１保健所で感染経路等が特定できた33人に関する分析）

※33人全数がデルタ株との確認はできていない



	n（人）	潜伏期間の平均(日)
全数	33	3.82

（2021年7月末～8月末の感染者）

＜府内１保健所で感染経路等が特定できた33人についての分析＞

■推定感染日より平均3.82日で発症

・従来株の潜伏期間（平均５日程度※）より短い。

・感染した人が他の人に感染させる可能性がある期間は、発症の２日前からとされており（※）、推定感染日の翌日には他の人に感染させている可能性。

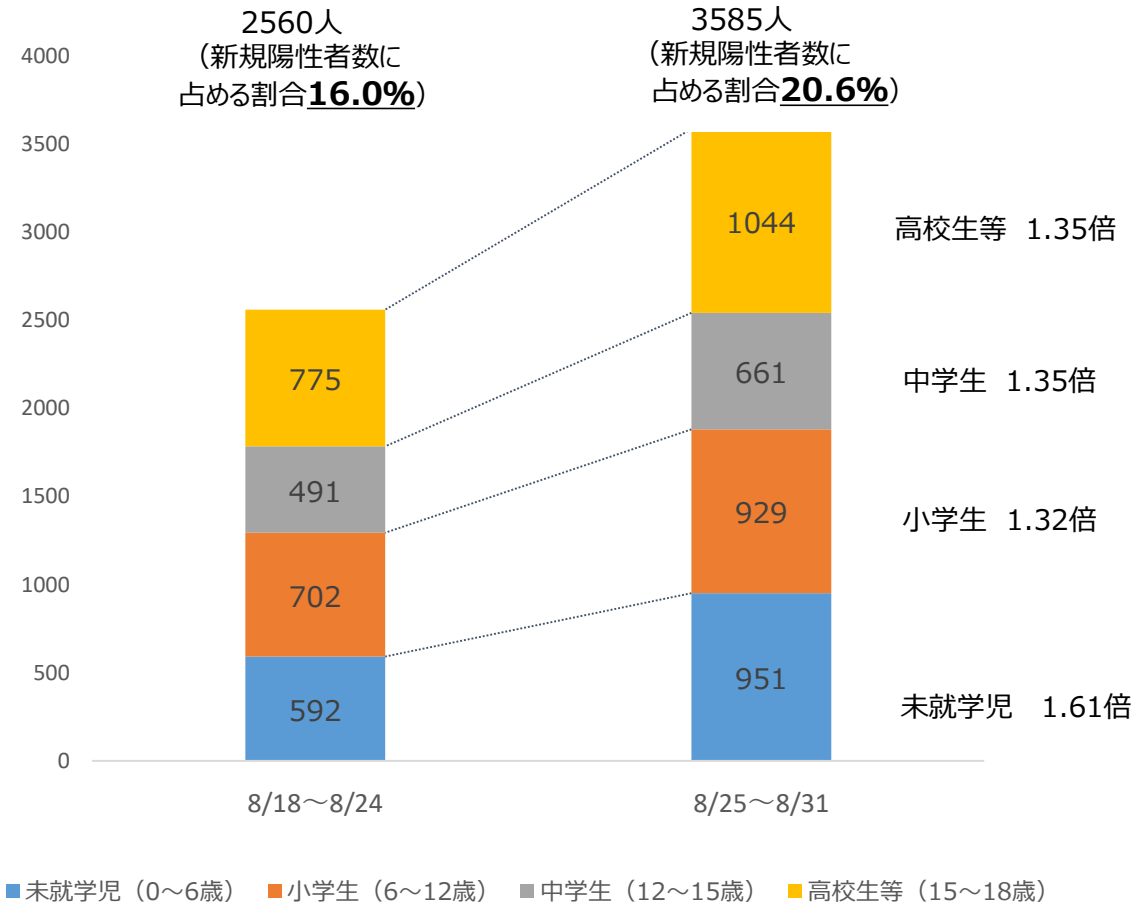
※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き」より

第五波　10代以下の新規陽性者やクラスター等の状況

フリップ③

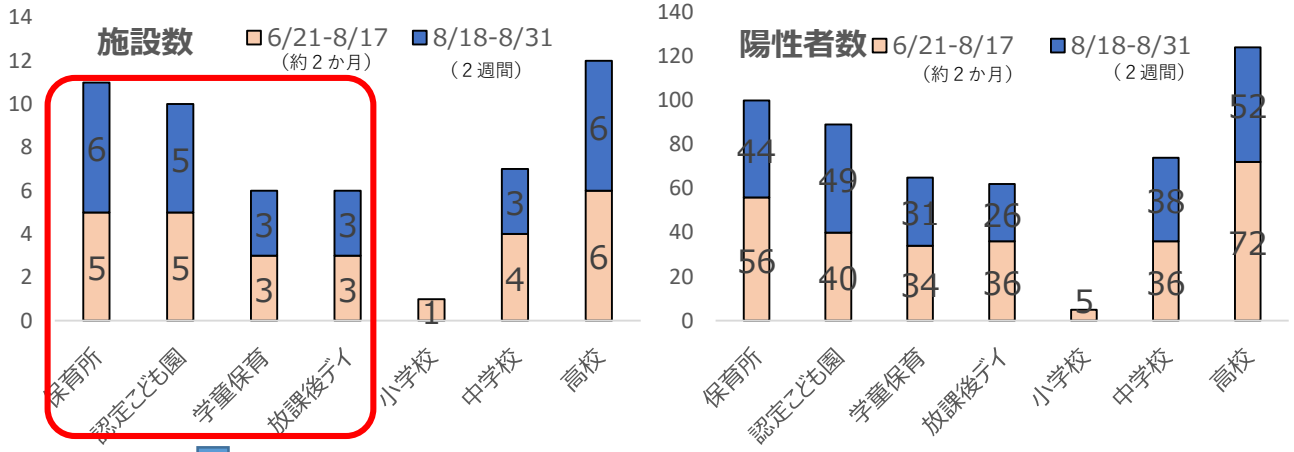
- ◆ 直近1週間は18歳以下の年齢層で新規陽性者数が大きく増加。
- ◆ 8月下旬の2週間の児童・学校関連クラスターの発生件数は、その前約2か月間の発生件数とほぼ同じ。
  児童施設クラスターの推定感染経路として子どもから職員・家庭への感染が確認。
- ◆ 臨時休業した府立学校数や、府立学校在籍の新規陽性者数は、8月に急増。

未就学児、小中学生、高校生等の新規陽性者数の推移



※HER-SYSより抽出

■第五波　児童・学校関連クラスター発生状況(6/21～8/31時点)



■児童施設クラスターの推定感染経路　※発症日が一番早い陽性者から推定

職員→子ども	子ども→職員	職員のみ	計
26	4	3	33施設

子どもから家庭への感染拡大　33施設中10施設

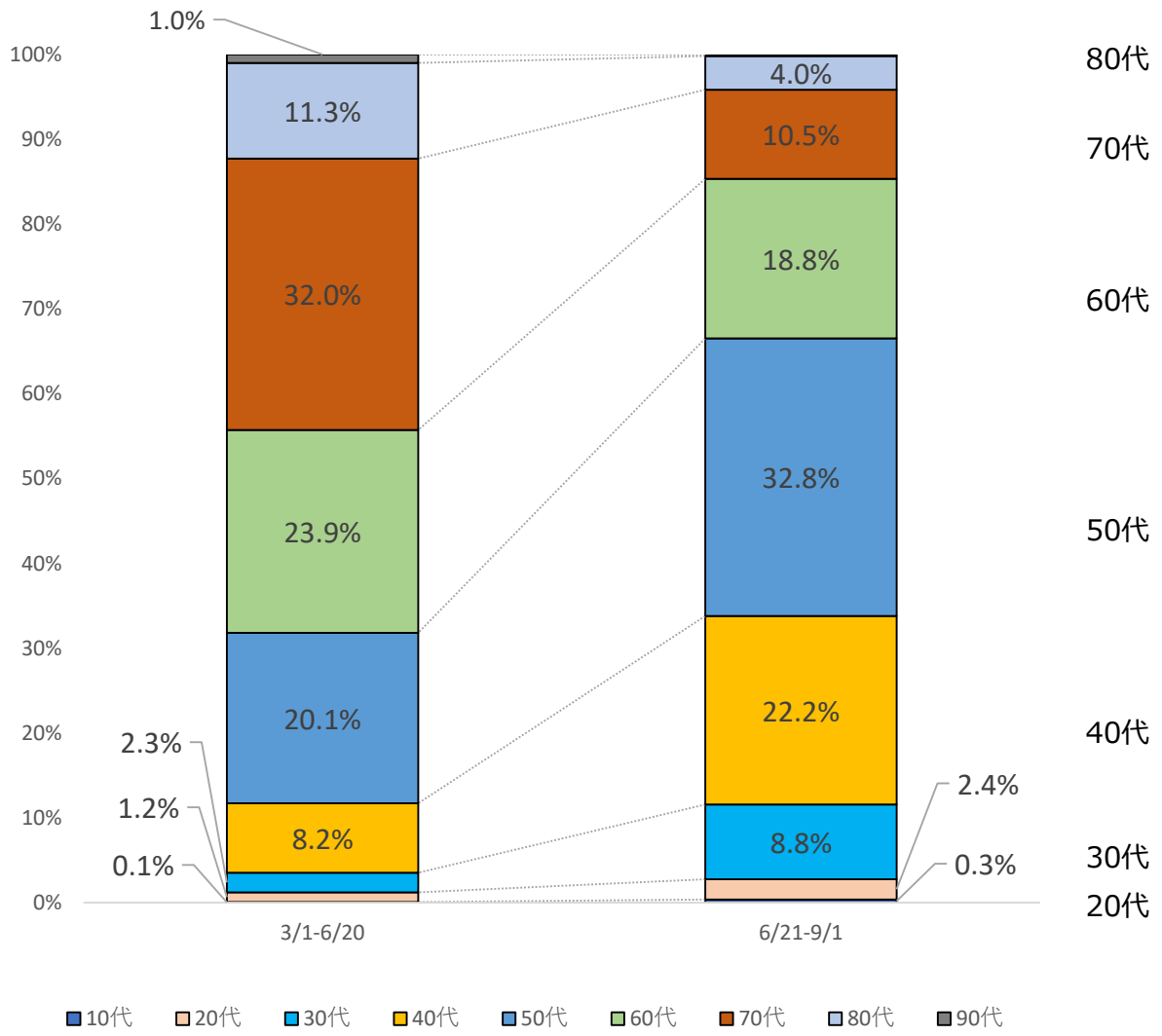
■府立学校（高校・支援学校　全176校）臨時休業・府立学校在籍の新規陽性者数

	6月	7月	8月
休校した学校数（のべ数）	16校	37校	143校
府立学校在籍の陽性者数（うち、教職員数）	31名（うち４名）	170名（うち16名）	1054名（うち65名）

年代別新規重症者の内訳（9月1日時点）

フリップ④

◆ 第五波における30代以下の重症者数は、第四波の数を超過し、40・50代だけでなく、若年層でも重症化。



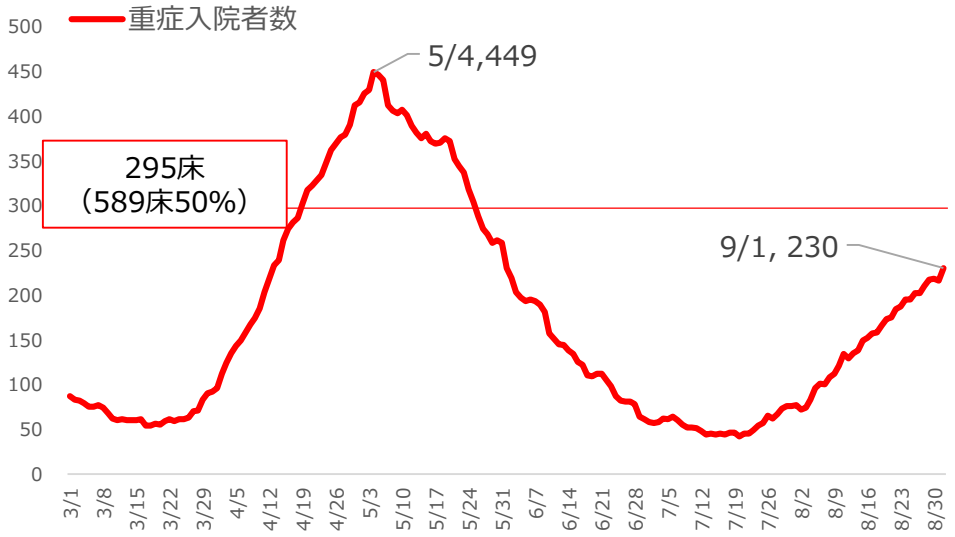
	第四波 (3/1～6/20)	第五波 (6/21～9/1)
新規重症者数	1735人	580人
30代以下	61人 (3.5%)	67人 (11.6%)
40・50代	491人 (28.3%)	319人 (55.0%)
60代以上	1183人 (68.2%)	194人 (33.4%)

病床等使用状況（9月1日時点）

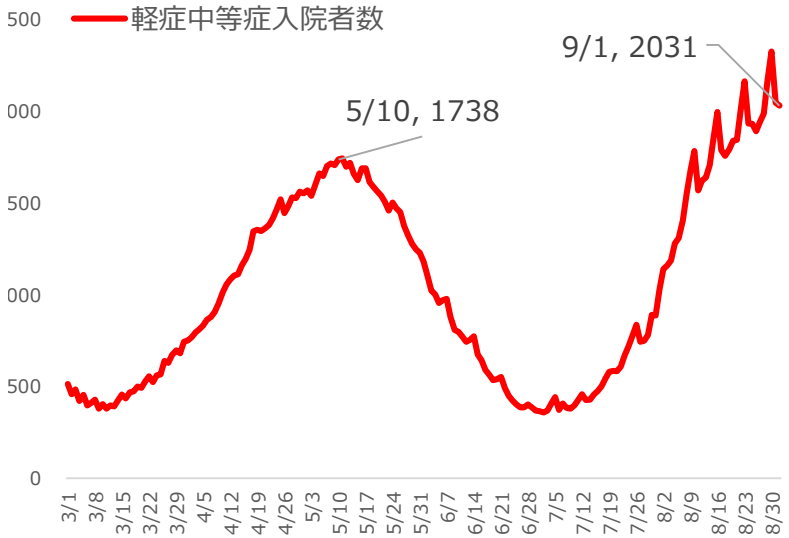
フリップ⑤

◆一般医療と両立可能な重症病床数（320床）を分母とする使用率は7割を超過し、災害級非常事態の重症病床数（589床）を分母とする使用率も約4割に増加。軽症中等症病床使用率・運用率は、ともに8割弱と極めてひっ迫。

入院患者（重症）

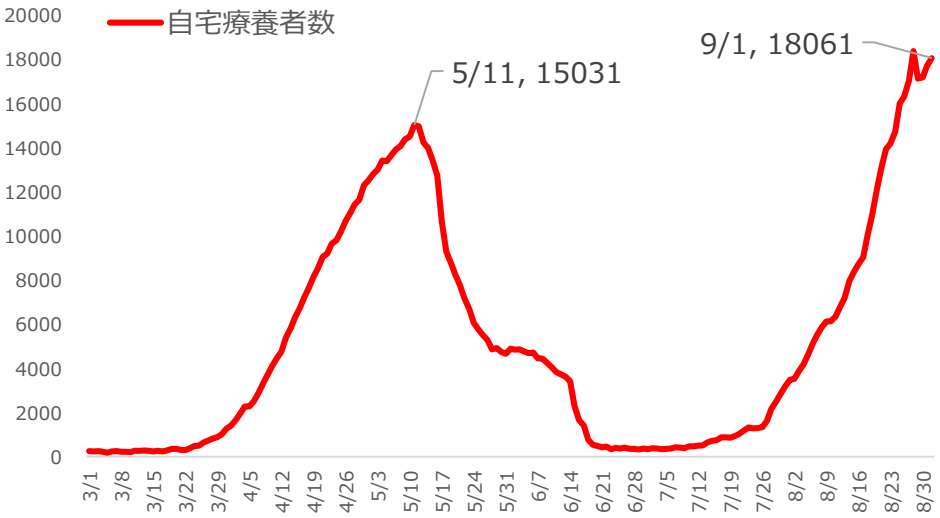


入院患者（軽症中等症）



宿泊療養者

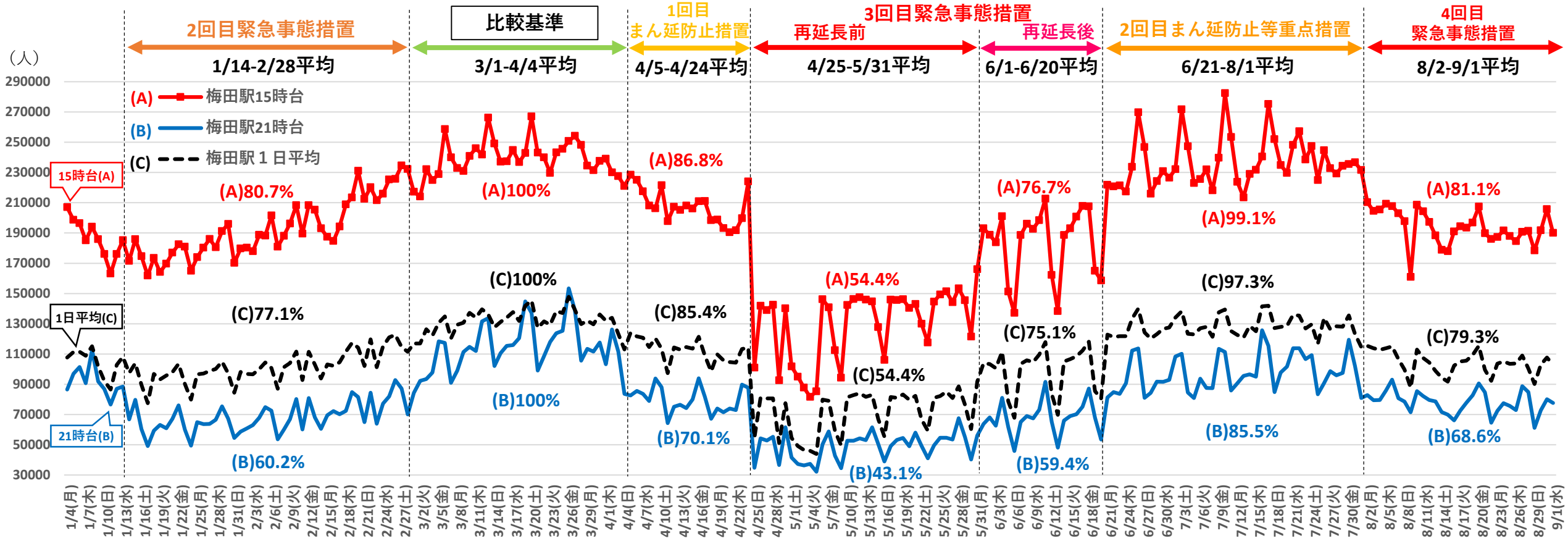
自宅療養者



	重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
使用率	３９．０％ （分母：５８９床） ※大阪モデルに基づく使用率 ７１．９％ （分母：３２０床）	７６．２％ （分母：２,６６５床）	５５．１％ （分母：６,１３１室）
運用率	５８．７％ （分母：３９２床）	７６．２％ （分母：２,６６５床）	５５．１％ （分母：６,１３１室）

【時間帯別】滞在人口の推移（梅田駅15時台・21時台）

フリップ⑥

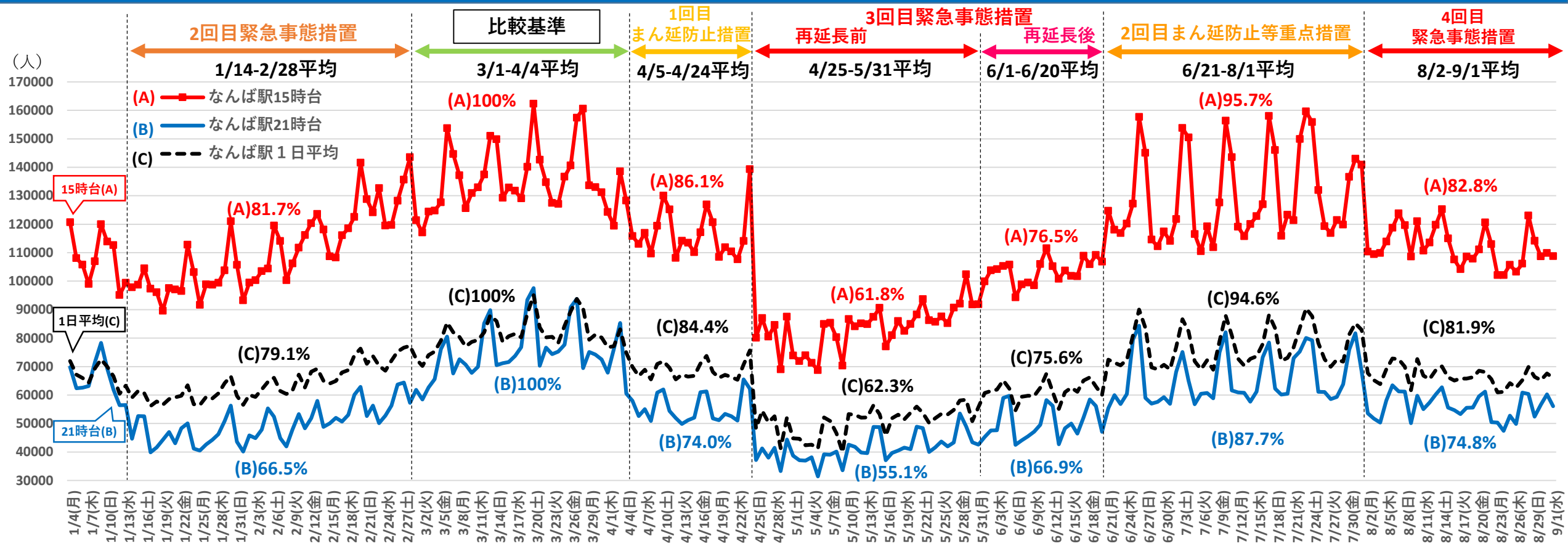


3/1-4/4平均との比較							
時間帯／比較期間	1回目 緊急事態措置（4/7-5/21平均）	2回目 緊急事態措置（1/14-2/28平均）	1回目 まん延防止等重点措置（4/5-4/24平均）	3回目緊急事態措置		2回目 まん延防止等重点措置（6/21-8/1平均）	**4回目 緊急事態措置（8/2-9/1平均）**
				再延長前(4/25-5/31平均)	再延長後(6/1-6/20平均)		
15時台	26.0%	80.7%	86.8%	54.4%	76.7%	99.1%	**81.1%**
21時台	21.2%	60.2%	70.1%	43.1%	59.4%	85.5%	**68.6%**
1日平均	27.6%	77.1%	85.4%	54.4%	75.1%	97.3%	**79.3%**

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント
(例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、30分滞在していた場合は0.5人として計算　　【出典：株式会社Agoop】

【時間帯別】滞在人口の推移（なんば駅15時台・21時台）

フリップ⑦



3/1-4/4平均との比較							
時間帯／比較期間	1回目 緊急事態措置（4/7-5/21平均）	2回目 緊急事態措置（1/14-2/28平均）	1回目 まん延防止等重点措置（4/5-4/24平均）	3回目緊急事態措置		2回目 まん延防止等重点措置（6/21-8/1平均）	**4回目 緊急事態措置（8/2-9/1平均）**
				再延長前(4/25-5/31平均)	再延長後(6/1-6/20平均)		
15時台	33.4%	81.7%	86.1%	61.8%	76.5%	95.7%	**82.8%**
21時台	30.3%	66.5%	74.0%	55.1%	66.9%	87.7%	**74.8%**
1日平均	35.2%	79.1%	84.4%	62.3%	75.6%	94.6%	**81.9%**

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント
(例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、30分滞在していた場合は0.5人として計算　　【出典：株式会社Agoop】

以下の行動の徹底をお願いします

フリップ⑧

- マスクの着用（できるだけ飛沫防止効果のある不織布マスク）や3密の回避を徹底してください。

（感染力の極めて高いデルタ株の影響により、
・大型商業施設でのクラスターが複数確認
・感染防止対策を講じても、3密のいずれかに該当する場合に感染が確認）

- いつもと体調が異なる時は、出勤や登校を控えてください。
- ワクチン接種後も引き続き感染対策を行ってください。

宿泊療養者に対する抗体カクテル投与について（宿泊療養施設連携型病院による往診）

フリップ⑨

◆ 宿泊療養施設連携病院（A型）のうち、患者の搬送・受入れに加え、連携する宿泊療養施設への往診可能と申し出のあった医療機関と連携を強化。

◆ 医療機関が医師・看護師等からなるチームを編成し、抗体カクテルの投与を行うことにより、宿泊療養者の重症化予防を図る。

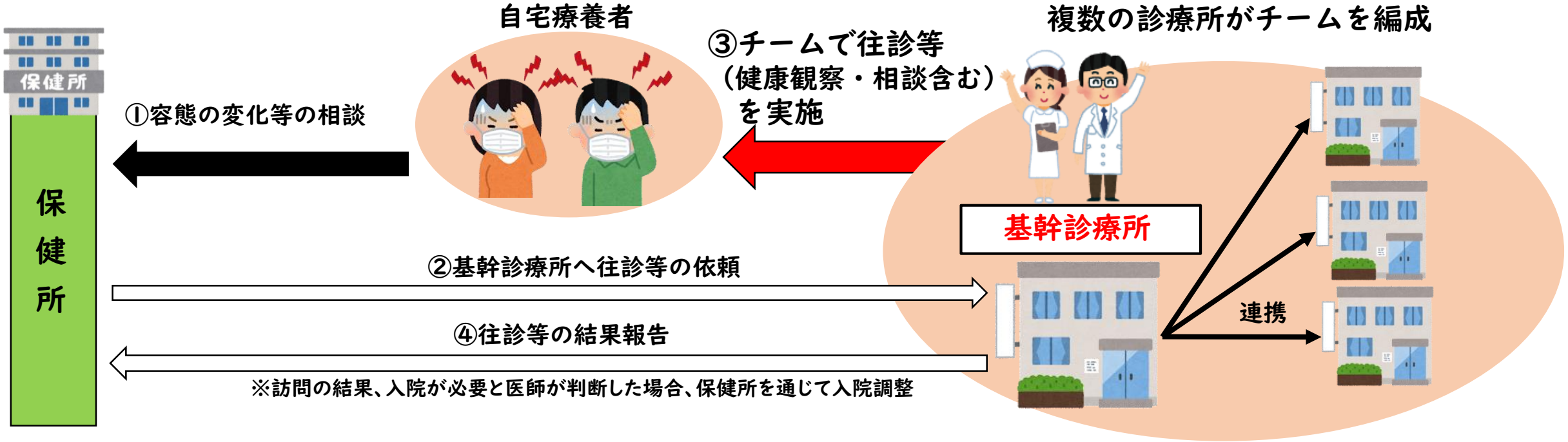
1. 実施場所　宿泊療養施設連携病院（A型）が連携するホテルから1か所選定
2. 実施方法　医療機関の協力のもと往診による抗体カクテル療法を実施
   ① 1ホテル5～10名程度/日、週5日程度
   ② 抗体カクテル対象者に投与（問診＋点滴＋経過観察＝2時間程度）
   ③ ホテルのワンフロアの客室に点滴室を複数設置
   ④ 投与後1時間は点滴室で経過観察を行い、その後は宿泊フロアの自室に戻って経過観察
3. 開始日　9月7日（火）より開始（予定）
4. その他　大阪府は、連絡調整員を配置し、患者の確認や誘導など医療機関をサポートする

※なお、臨時の医療施設「大阪府ホテル抗体カクテルセンター」の2か所目を新たに民間事業者に委託し追加（9月中旬予定）

診療所による往診チームの編成に対する支援について
～自宅療養への支援強化～

フリップ⑩

◆ 自宅療養者への支援強化のため、自宅療養者への平日・日中における往診等（健康観察・相談含む）を複数の診療所からなるチームで行う場合、体制確保に係る経費へ支援



●事業概要
- 複数の診療所からなるチームが保健所からの依頼に基づき、自宅療養者への往診等を行う。
- チームのうち1か所の診療所を「基幹診療所」とし、保健所との連絡調整、医師・看護師派遣調整などの事務を担う。
- 稼働日は、平日の午前9時から午後4時まで（夜間・休日は、民間事業者が対応）

●医療非常事態宣言中における大阪府の支援
- 【新規】基幹診療所に対し、連携診療所数に応じて補助金を交付 なお、構成診療所1つあたり30万円／月額を上限額として、基幹診療所に支払う。（チームは、原則として最低3カ所以上の診療所で構成し、月額300万円を上限とする）
- 【既存】往診協力金として、往診1回につき、医師15,100円、看護師8,280円を交付する。

関西４府県知事による緊急共同メッセージ

フリップ⑪

◆新型コロナウイルス感染症が拡大する中、緊急事態宣言が発令されている滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県の４府県の知事が、共同で緊急メッセージを発信。

◆人と人との接触を減らすとともに、府県をまたぐ移動を最小限にすることを、改めて各府県民の皆様に呼びかける。

≪放映中のもの≫

ビジョン設置場所	協力事業者	放映期間
大阪ステーションシティ アトリウム広場・カリヨン広場・ 3階インフォメーション・ EVホール・御堂筋南口	大阪ターミナルビル㈱	8/30～9/12
梅田コーワビジョン	㈱三晃社	9/1～9/12
エディオンなんば本店	㈱エディオン	9/1～9/12
J:COMチャンネル	㈱ジェイコムウエスト	9/1～9/12
【参考：滋賀県にて調整】 JR西日本 4府県内路線の車内ディスプレイ	㈱JR西日本 コミュニケーションズ	8/28～9/12

≪今後放映予定のもの≫

ビジョン設置場所	協力事業者	放映期間
北大阪急行電鉄 千里中央・桃山台・緑地公園の各駅、 9000系車内モニター	北大阪急行電鉄㈱	9/4～9/12
大阪メトロ 各駅ディスプレイ・ なんばパノラマビジョン	大阪高速電気軌道㈱	9/6～9/12
京阪電鉄　北浜駅	京阪電気鉄道㈱	9/6～9/12
近鉄電車　大阪上本町駅・大阪難波駅・ 布施駅・大和西大寺駅・大和八木駅	近畿日本鉄道㈱	9/6～9/12
阪急梅田エントランスビジョン	阪急阪神不動産㈱	9/6～9/12
南海電鉄　なんばガレリアツインビジョン・B1髙島屋前・3F改札前	南海電気鉄道㈱	9/6～9/12

関西４府県知事による緊急共同メッセージ

フリップ⑫

動　画

大阪880万人訓練の実施

フリップ⑬

◆ 「第10回 大阪880万人訓練」を9月3日（金）に実施。

◆ 府民1人ひとりが、大地震・津波の発生を想定し、自分の身を守ることについて事前に考え、発災時に備え、実際に行動し（あるいは何をすべきか想起し）、再確認していただくための訓練。

◆ 現在、緊急事態宣言発令中ですが、自然災害はいつ襲ってくるか分かりません。
いざというときに備えて、「地震が起きたらまず身を守る」「揺れがおさまったら津波に備えてすぐに逃げる」を意識して、ぜひ“ひとりひとり”の形で、この機会に実践してください。

❑ 午後1時30分：地震発生（訓練開始）

▸館内放送・屋外スピーカーなどでお知らせ

❑ 午後1時33分頃：大津波警報発表

▸携帯電話に
エリアメール／緊急速報メールが届く

マナーモードでも鳴ります！

▸「おおさか防災情報メール」や「Yahoo! JAPAN『防災速報』アプリ」でも同様のお知らせが届く

地震が起きた時にとるべき行動

フリップ⑭

緊急地震速報が出されたら

すぐに身を守る行動を！

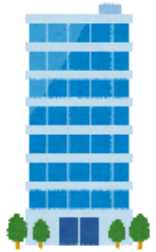
・数秒から数十秒で揺れが来ます。
・すぐにテーブルの下などに避難しましょう！

屋外では塀の倒壊や
落下物に注意！

揺れがおさまったら

津波浸水の恐れのある地域ではすぐ避難！

・高台や鉄筋コンクリート3階以上の高いところへ！
・津波警報・注意報が解除されるまでは絶対戻らない！



安全な場所にいる人は
避難する必要なし
避難情報にも注意！

避難するときは

・あわてず、歩いて避難しましょう。

・持ち歩けるよう、荷物は最小限に。

感染防止のためのマスクや
消毒シート等も忘れずに！

日頃からの備え

■ ハザードマップで調べてみましょう

▶津波や洪水、土砂災害などの自然災害による被害想定区域や避難場所、避難経路などの情報が掲載されている地図です。ご自宅や避難先などの状況を事前に調べておきましょう。

■ おおさか防災情報メールにご登録を

▶必要な事項をあらかじめ登録していただくと、気象情報や避難指示、緊急のお知らせなど幅広い情報をメールで受け取ることができます。
災害時の情報収集手段として、登録をお願いします。
おおさか防災Twitterのフォローもお願いします。

登録は

おおさか防災情報メール　検索

■ 非常持ち出し品や備蓄品を準備しましょう

▶食料品や飲料水を備蓄しておくとともに、モバイルバッテリーやラジオ、懐中電灯などすぐに持ち出せるようリュックなどにまとめておきましょう。

※ 備蓄品については、期限を確認しておきましょう。
※ 感染防止対策用のマスクなども準備しておきましょう。

■ 災害用伝言サービスについて

▶災害用伝言ダイヤル（171）などのサービスが通信各社から提供されています。
いざというときの連絡手段として調べておきましょう。

※ 災害用伝言ダイヤル（171）は、防災週間（8月30日～9月5日）に体験利用ができます。

171やな！

訓練では感染防止に注意してください

フリップ⑯

◆ 訓練などを行う場合は3つの密を避け、感染対策を万全に！
◆ 在宅勤務者を含めた安否確認訓練など、コロナ禍における災害対策を意識した訓練を！

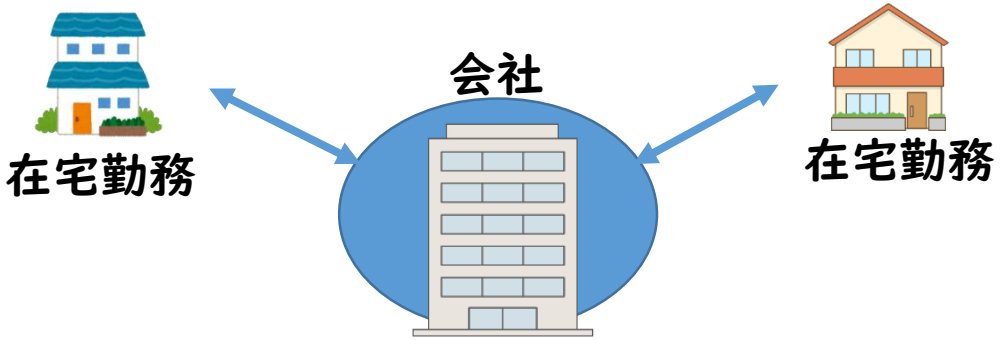
■ コロナ禍を意識した訓練（例）

▶避難訓練を行う際は、「人と人との距離を確保する」、「集合しない」など、**3つの密に配意した行動を！**

まずは身を守る行動を！

避難訓練などをする際は、距離をとるなど3つの密に配意した行動を！

▶コロナ禍における**勤務形態の変化に対応した**安否確認・緊急連絡体制の確認などの推進！



社内の安否確認

社内にいる社員だけでなく、在宅勤務者も含めた安否確認を！

いざというときに備えて、“ひとりひとり”の形で、この訓練の機会に実践してください。